独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター

＝地域の先生方と高崎総合医療センターを結ぶ＝
URL http://www.tnho.jp/

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院
独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター

こくたか連携だより

2月号
第109号
2016年発行

〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
地域医療支援･連携センター (TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- ●常に患者さん本位の医療を心がけます
- ●研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- ●医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- ●良き医療従事者の育成に努めます
- ●臨床研究を推進します
- ●健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- ●誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- ●患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- ●病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- ●他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- ●病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- ●医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

目　次

- ●市民健康医学講座 …… 2
- ●在宅胃瘻交換のご案内/トピックス …… 3
- ●栄養だより …… 4
- ●高崎総合医療センターからのお知らせ …… 5～7
  医療機器共同利用のご案内/胸部ＣＴ検査
  CT検査のネット予約
- ●患者衣レンタルのご案内 …… 8
- ●がん相談支援センター/ほっとさろん・たかさき … 9
- ●セカンドオピニオンのご案内 …… 10～11
- ●医師紹介コーナー …… 12
- ●地域医療連携登録医のご紹介 …… 13
- ●外来診療担当表 …… 14～15
- ●院長室だより/行事などのお知らせ …… 16

市民
健康医学
講座

内科系診療部長　茂木　充

禁煙のすゝめ

タバコの煙にはニコチン、タール、一酸化炭素などの有害物質が含まれています。ニコチンは末梢血管を収縮し，血行を阻害する作用があり、心拍数と血圧を上昇させます。慢性的には動脈硬化を促進します。また、脳に作用しニコチン依存症を引き起こします。タールには、4,000種類以上の化学物質が含まれていますが、それらは、ベンゾピレン、ニトロソアミンなどの発がん物質や、ヒ素、カドミウムなどの有害物質で、身体に悪いものばかりです。一酸化炭素は、CO-ヘモグロビンをつくり、組織の酸素欠乏をきたし、特に、心臓血管、皮膚、骨、胎児発育に悪影響を与えます。ニコチン、タール、一酸化炭素、これらタバコ三悪の忌まわしい連携によって急性・慢性の健康被害が引き起こされるのです。タバコ悪を知らずに罠にはまってはいけません。

喫煙は、肺がんをはじめ、慢性閉塞性肺疾患、心筋梗塞、脳卒中などのリスクを高めます。また、タバコを吸い始める年齢が若いほどこれらの病気で死亡するリスクが高くなり、特に、14歳以下で吸い始めた場合、とりわけ死亡リスクが高まるといわれています。未成年者の喫煙をなくすことが極めて重要です。さらに、これらの健康被害は喫煙者ばかりでなく、その家族など周囲の非喫煙者にも受動喫煙という形で襲いかかります。受動喫煙では、非喫煙者は毒性の高い副流煙と喫煙者の呼出煙を吸い込むことになり、能動喫煙で起きる病気は、すべて受動喫煙でも起きることになります。受動喫煙は、家族や職場の同僚のがん・心臓病・脳卒中などのリスクを高めることが明らかにされ、日本でも受動喫煙により毎年5000～１万人以上の日本人が死亡していると推計されています。また、両親からの小児の受動喫煙は、乳幼児突然死症候群や喘息の発症・悪化など小児の健康上のリスクを増加させます。

禁煙には短期的、長期的に様々な効用があり、禁煙を早く始めれば始めるほど、肺がんや心筋梗塞による死亡リスクは低下し非喫煙者と同等となり、寿命も取り戻すことができます。

タバコ関連死亡は世界で毎年500万人以上、日本で10万人以上と推計されています。タバコの健康被害を防ぐために、禁煙運動の輪を広げ、タバコ害のない社会を築いていきたいものです。

公益財団法人結核予防会

たばこをやめたら、一服が一福にかわりました。

今までの一服の相棒はたばこだった。
でも大切なひとができて、たばこをやめた。
たばこをやめたら、心も体も、みんなも笑顔。
なんだかいいことがありそう。

Stop illicit trade of tobacco products
2015WHOテーマ:たばこ製品の違法取引を止めよう

在宅胃瘻交換のご案内

高崎総合医療センターでは、自宅や介護施設などに入所して、療養している胃ろう造設患者の胃ろう交換を訪問して行います。

ご希望の方は、主治医とご相談の上、下記までご連絡ください。

訪問日 毎月　第3火曜日　午後（事前予約制）
連絡先 高崎総合医療センター内　地域医療支援･連携センター
直通電話 027−322−5835（8時30分〜17時）

トピックス

1月18日〜20日、この冬一番の寒波が襲来し高崎でもあたり一面、真っ白な雪に覆われました。足場の悪い中、患者さん・ご家族の皆さんが安全にご自宅まで帰れるよう、高崎市役所職員の協力をいただき除雪作業を行いました。当日はお疲れ様でした。
まだまだ寒い日が続きます。手洗い・うがい・マスク着用などしっかり予防して、この冬を乗り切りましょう。

栄養だより

節度ある適度な飲酒を

「酒は百薬の長」と言うように、正しく飲めば健康に良いとされるアルコール。厚生労働省が推進する国民健康づくり運動「健康日本２１」では、『節度ある適度な飲酒』は、**１日平均純アルコールで約 20g 程度**であるとされています。

純アルコール量 (g) ＝ 飲酒量 (ml) × アルコール度数 (%) × アルコールの比重 0.8

お酒の種類					
	500ml	1 合 180ml	ダブル 60ml	0.5 合 90ml	1 本 120ml
	ビール	日本酒	ウイスキー	焼酎	ワイン
アルコール度数	5%	15%	43%	25%	12%
純アルコール量	20g	22g	20g	18g	12g

また、以下のことにも留意する必要があります（「健康日本２１」より抜粋）。

1. 女性は男性よりも少ない量が適当である
2. 少量の飲酒で顔面紅潮を来す等アルコール代謝能力の低い者では、通常の代謝能力を有する人よりも少ない量が適当である
3. 65 歳以上の高齢者においては、より少量の飲酒が適当である
4. アルコール依存症者においては適切な支援のもとに完全断酒が必要である
5. 飲酒習慣のない人に対してこの量の飲酒を推奨するものではない

適量とはいえ、毎日の飲酒は肝臓に負担をかけてしまいます。週に２日は休肝日を設けるようにしましょう。また休肝日を設けたからと、ほかの日に多量飲酒をしては意味がありません。日頃から適量飲酒を心がけましょう。（多量飲酒は平均純アルコール 60g 以上を目安とします。）

※病気の治療のため、禁酒が必要な場合がありますので、必ず飲酒の可否は主治医へ確認するようにしましょう。

医療機器共同利用のご案内

当センターで保有しています医療機器を、地域の医療機関の先生方にもご利用いただけます。患者さんの診療および治療にお役立てください。

●検査項目

CT

通常撮影の他に	
CTAngio	脳血管
	冠動脈
	胸部大動脈
	腹部大動脈
	下肢血管
CTコロノグラフィ	大腸
Dual Source CT	

MRI

通常撮影の他に	
MR　Angio	脳血管
	冠動脈
MRトラクトグラフィ	
MR　VSRAD	
MRS	
MRCP	

核医学検査

頭　部	脳血流シンチ	IMP
		ECD
	脳腫瘍	タリウム
	神経受容体	ベンゾダイン
頭頸部	唾液腺シンチ	TcO_4^-
甲状腺	ヨード摂取率	
	副甲状腺	MIBI
肺	換気	Kr
	血流	MAA
心　臓	安静心筋	Tc・Tl・MIBG
	薬物負荷心筋	Tc・Tl
	心筋脂肪酸代謝	2核種
腹　部	副腎皮質	アドステロール
	副腎髄質	I-123MIBG
	消化管出血	
	腎臓	
全　身	骨	
	ガリウム	
	タンパク漏出	

※ 核医学の検査項目は実施できる曜日が限られております。**キャンセルが出来ません。**
事前準備が必要な場合がございますので、予約の際に当センター放射線技師が対応いたします。

お問い合わせ

システムのご利用にあたり、手続きが必要です。
詳しくは**地域医療支援・連携センター**までお問い合わせください。

地域医療支援・連携センター

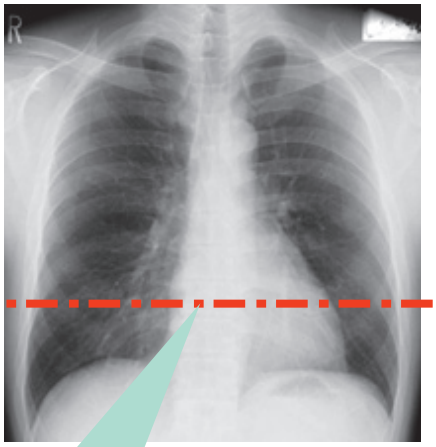
【受付時間】　平日 8：30～17：00

直通電話 027−322−5835　直通FAX 027−322−5925

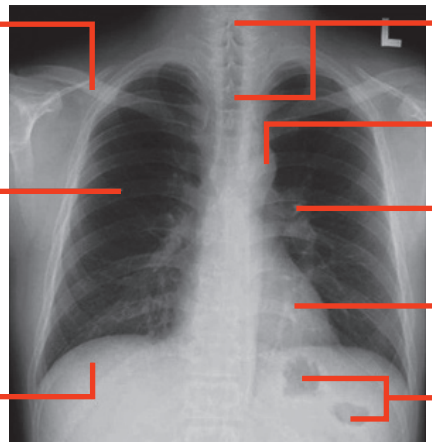
胸部CT検査

40歳を過ぎた方や健康診断で胸部単純X線だけの方、数年に１回はCT検査を!!

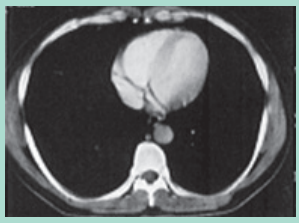
正常 胸部X線写真

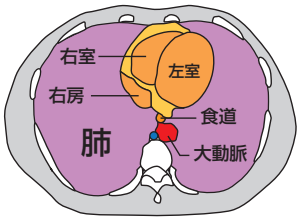


写真に写る部位

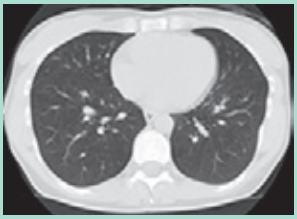


赤線のCT画像





左CT画像の肺野条件



○異常陰影

お問い合わせ

当センターではインターネットによる単純CTの予約が可能です。
ご希望の医療機関は**地域医療支援・連携センター**までお知らせください。

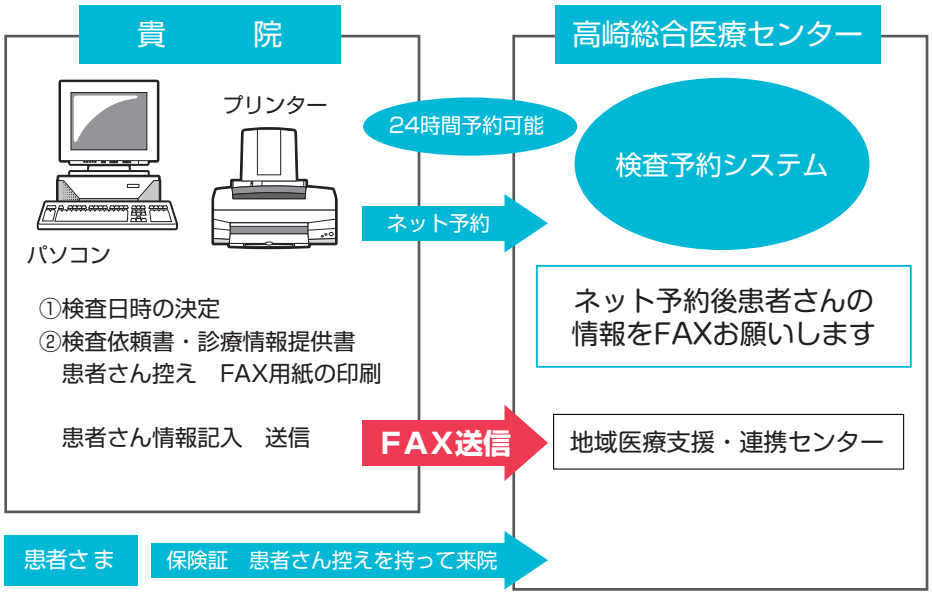
地域医療支援・連携センター

直通電話 027−322−5835　直通FAX 027−322−5925

CT検査　ネットでいつでも予約

インターネットでカンタン！24 時間いつでも予約可能になりました！

今まで電話対応しておりました単純CT予約を
インターネットで24時間予約が出来るようになりました。
一部制約※はありますが、ご利用ください。



※制約
- 造影検査には対応しておりません
- 予約可能日時に制約があります
- 予約時間が午後になります
- ネットだけでなくFAXも併用いたします

予約の流れ抜粋

1 ログイン後
カレンダーから予約状況を確認し、
予約したい日をクリック

2 必要事項を入力すれば、
すぐに予約が取得できます。

3 患者さんへお渡しする
資料も、予約と同時に
印刷できます。

- 読影レポート付きです
- このサービスは高崎総合医療センター連携医療機関専用となっております。
- ご利用には事前登録が必要です。ご希望の方は地域医療支援・連携センターにお問い合せください。

Tel　027−322−5835　　Fax　027−322−5925

入院される患者さん・ご家族の方へ

患者衣レンタルのご案内

当センターでは、入院中ご自身のねまき・パジャマのご利用の他に、レンタルサービスも行っています。

A 1日 300円（税込）
- 患者衣……1枚/1日
（上下タイプ・ガウンタイプよりお選び頂けます）

※配布は、2日に1回、2日分となります。

B 1日 400円（税込）
- 介護用患者衣……1枚/1日

※配布は、2日に1回、2日分となります。

C 1日 200円（税込）
- バスタオル……1枚/1日
- フェイスタオル……2枚/1日

※配布は、2日に1回、2日分となります。

■ご利用いただく方へ

- お申込みは、受付窓口（2階ファミリーマート）で受付けております。
- 申込商品は契約期間中ベッドサイドまで伺い、使用済のものと洗濯済みのものを2日に1回交換させて頂きます。
- 使用、未使用に関わらず、契約期間中は開始日から1日あたりの定額料金を頂きます。
但し、以下の場合はご請求対象外といたします。
《①解約日　②退院日　③外泊日》
- ①解約・②退院の際は書類のご提出をもって解約手続の完了となりますので、お手数ですが、必ず申込書（お客様控）をご持参いただき、その書類をもとに「解約申込書」をご記入いただきます。解約後は商品を全て回収させて頂きます。
- ③外泊の際は書類のご提出をもってご請求対象外となりますので、お手数ですが必ず「解約申込書」をご提出ください。
- ご利用料金は入院費には含まれません。
- お申し込み時に契約日数分の現金をお支払いください。

ファミリーマート高崎総合医療センター店
院内お問合せ先　027-310-1132　内線 2281
※状況によりつながりにくい場合がございますのでご了承ください。

がん相談支援センター

病気や療養、生活に対する不安など　お気軽にご相談ください。

- 今後の検査や治療のことが不安
- 治療の副作用が心配
- 療養生活に関する情報がほしい
- セカンドオピニオンについて相談したい
- 緩和ケアに関する情報を知りたい
- 仕事はどうしたら良いか？
- 在宅医療や介護保険など住宅ケアに関することを相談したい
- 禁煙に関すること

などなど

相談窓口　１階　６番入退院センター隣

電話相談　027－322－5901（代）「がん相談希望」とお伝え下さい。

相談受付時間　平日　８時30分～17時15分

がん患者さんやそのご家族の集いです

ほっとさろん・たかさき

病気のことや日々の生活のことなどお茶を飲みながらお話ししませんか？

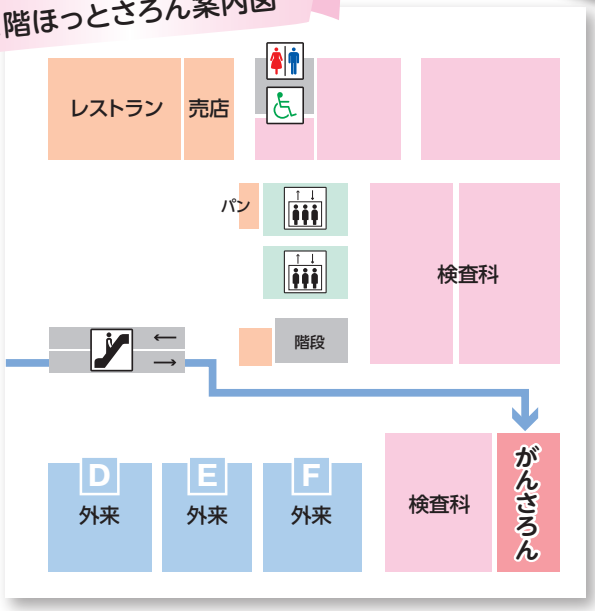
当センターでは、がんさろんを月1回開催しております。
がん患者さんやそのご家族に、ご自由に参加して頂いております。
事前の申し込みは必要ありません。

と　き：毎月 第四金曜日
13時30分～15時30分

ところ：高崎総合医療センター2階
Fカウンターの奥　市役所側

当日は、高崎総合医療センター相談支援センターの看護師やソーシャルワーカーも参加いたします。

2階ほっとさろん案内図



●当院へ駐車の場合、駐車料金（４時間まで200円）がかかります。
ご了承下さい。
さろんについてのお問い合せは、高崎総合医療センター**相談窓口**
までお願い致します。
電話：027−322−5901（病院代表）

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者がご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科・神経内科・精神科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科
小児科・外科・乳腺、内分泌外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科
心臓血管外科・皮膚科・産婦人科・泌尿器科・眼科・放射線診断科
放射線治療科・歯科口腔外科

予約方法 外来時間 費用

完全予約制　代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

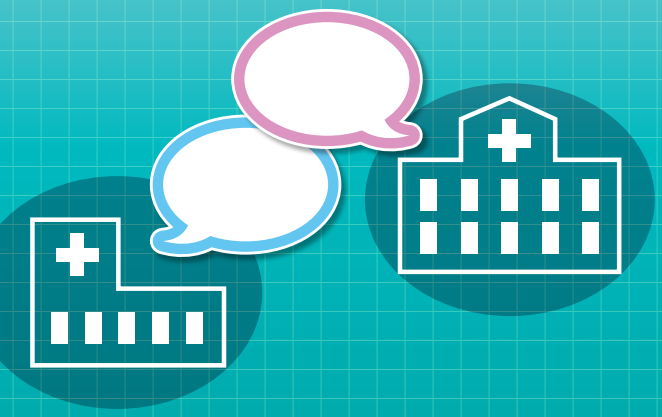
【受付時間】 月曜～金曜　8時 30 分～ 17 時の間

※精神科の受付時間は **月曜～金曜　8時 30 分～ 12 時迄** となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させて頂きます

●セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）
月曜～金曜　13時30分から15時30分の間で調整

●費用　30分以内 5,400円(消費税込み)
1 回につき 10,800円が上限となります



セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。
医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。
その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。
当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科　名	医師名	専　門	曜　日
内科	佐藤　正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田　逸朗	がんのメンタルヘルス	木
神経内科	石黒　幸司	神経内科学、神経内科一般	金
呼吸器内科	茂木　充	呼吸器全般	金
	清水　雄至	呼吸器全般、アレルギー疾患（眼・鼻・皮膚・除く）	火、金
消化器内科	工藤　智洋	食道、胃、大腸	木
	長沼　篤	消化器病一般、肝臓病	木
循環器内科	広井　知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
小児科	五十嵐　恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	小川　哲史	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術	木
	饗場　正明	消化器外科全般	水
	坂元　一郎	消化器外科全般	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵　幸生	乳癌全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金（午前）
整形外科	新井　厚	脊椎・脊髄疾患、整形外科全般	月
脳神経外科	栗原　秀行	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般	火
	笹口　修男	脳血管障害	木
呼吸器外科	菅野　雅之	肺癌、縦隔腫瘍、呼吸器外科全般	木
心臓血管外科	坂田　一宏	心臓血管外科全般（小児などの先天性疾患は除く）	木
皮膚科	龍崎　圭一郎	皮膚外科、皮膚腫瘍	火
産婦人科	伊藤　郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	井上　雅晴	泌尿器科全般	火
眼科	土屋　明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸　幾	画像診断ＣＴ・ＭＲ中心	木
	佐藤　洋一	画像診断ＣＴ・ＭＲ中心	火
放射線治療科	北本　佳住	悪性疾患の放射線治療	金
歯科口腔外科	高崎　義人	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、水、木

医師紹介コーナー

当センターの医師を紹介します！

●形成外科　林 奈津子
はやし なつこ

平成27年10月より形成外科に赴任いたしました林奈津子です。出身は東京女子医科大学で、形成外科に興味があり、日本で一番大きい昭和大学に入局しました。入局後は東京・山形・福岡・高知と全国津々浦々、豊富な症例を経験させていただき専門医を取得しました。

形成外科の専門分野は、顔と全身の皮膚になります。できてしまった傷を消すことは不可能ですが、より傷痕をきれいにしたり、目立ちにくくすることに長けております。顔のけがやカラダのできものなど、気になることがあれば気軽に相談してください。

不慣れなことも多いかと思いますが、丁寧な説明を心がけ、患者さんに納得した医療を届けられるよう努力していきますので、どうぞよろしくお願いします。

●消化器内科　綿貫 雄太
わたぬき ゆうた

平成27年10月より消化器内科で勤務させていただいております、綿貫雄太と申します。高崎市出身で、小中高と高崎で過ごしておりました。群馬大学入学を機に前橋に転居し6年間を前橋で過ごし、その後の研修医時代から5年間を伊勢崎市民病院に勤めておりましたので、都合11年振りに高崎に戻ってきたことになります。変わらない部分も（栄寿亭のカツ丼は高校時代に食べた記憶そのままでした）、変わった部分も（12月の話になりますが、東龍の閉店には衝撃を受けました）、全部含めて高崎の素晴らしさを改めて実感しております。もちろん食べてばかりではなく診療の面でも皆様のお役に立てるよう精進していくつもりですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます

青山医院

【住　所】 群馬県前橋市古市町350
【電　話】 027－251－2861

当院では各種アレルギー検査などの他に、自律神経機能検査(瞳孔機能)、筋電図(神経伝導速度)、エコー検査を実施しています。また神経難病などで自宅療養中の方に対する在宅訪問診療も行っています。

青山医院
院長　青山 正洋

【診療科】
内科・小児科・アレルギー科・神経内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日･祝
午前 (9:00～12:30)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	休
午後 (4:00～6:00)	◎	◎	休	◎	◎	休	休

●院長あいさつ

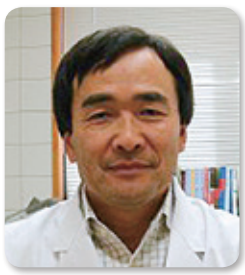
一般の内科・小児科診察の他に、アレルギー科では各種アレルギー花粉症・化学物質過敏症を、神経内科では、頭痛・めまい・しびれ・神経難病・脳血管障害・生活習慣病などの診察を行っております。

すがの内科医院

【住　所】 群馬県前橋市総社町植野328－5
【電　話】 027－256－8121

総合内科専門医として内科全般の診療を行います。脳卒中予防、慢性期治療、パーキンソン病、認知症、頭痛外来など脳から神経筋肉全般の診療を行います。循環器疾患、消化器疾患(胃内視鏡を含む)に対応します。

すがの内科医院
院長　菅野 仁平



【診療科】
内科・神経内科・循環器科・消化器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日･祝
午前 (9:00～12:30)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	休
午後 (3:00～6:00)	◎	◎	休	◎	◎	休	休

●院長あいさつ

・患者の立場を尊重した医療を実行します。
・かかりつけ医として最高の医療水準を目指します。
・地域医療に貢献します。

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤正通	合田史	合田史	佐藤正通	佐藤正通
	渡邉俊樹	渡邉俊樹		渡邉俊樹	(川田悦夫)
				合田史 午後：予約専門外来	
内分泌代謝外来		(小澤厚志)	(道又敏夫)	(石井角保) 午後	
リウマチ外来					(井上誠)
神経内科	金井光康	柴田真	石黒幸司	金井光康	(櫻井篤志)
	(櫻井篤志) 午後のみ：紹介・予約				
呼吸器内科	茂木充	茂木充	清水雄至	茂木充	清水雄至
	佐藤麻里	上野学	原田直之	原田直之	(相澤)／上野
消化器内科	長沼篤	工藤智洋	(宮前直美)	長沼篤	工藤智洋
	吉田はるか	星野崇	上原早苗	綿貫雄太	星野崇
	上原早苗	植原大介	椎名啓介	椎名啓介	綿貫雄太
	(蘇原直人) 午後		石原弘 午後		
内視鏡検査	星野／椎名	綿貫	工藤／吉田	工藤／植原	長沼／上原
循環器内科 (ペースメーカー外来含)	齋藤章宏	小林洋明	広井知歳	福田延昭	柳澤三朗
	菅野幸太	高橋伸弥	静毅人	原田智成	田村峻太郎
		(金澤紀雄) 再来のみ		(金澤紀雄) 再来のみ	(本多忠暁)
新患外来 (午前のみ)	静毅人	田村峻太郎	原田智成	高橋伸弥	菅野幸太
精神科	井田逸朗	井田逸朗	井田逸朗	井田逸朗	井田逸朗
	平野かほり	平野かほり	平野かほり		平野かほり
小児科	五十嵐恒雄 午前のみ：紹介・予約	佐藤幸一郎	五十嵐恒雄 午前のみ：紹介・予約	関根和彦 午前のみ	徳永真理 午前のみ
	関根和彦 午前のみ：紹介・予約	山本順子 午前のみ：紹介・予約	徳永真理 午前のみ	橋本真理 午前のみ：紹介・予約	佐藤幸一郎 午前のみ
	荒川直哉	五十嵐恒雄 午後のみ：紹介・予約	橋本真理 午後のみ：紹介・予約	荒川直哉 午前のみ：紹介・予約	山本順子
	徳永真理 午後のみ：紹介・予約	(神尾綾乃)	関根和彦 午後のみ：紹介・予約	徳永真理 午後のみ：紹介・予約	五十嵐恒雄 午後のみ：紹介・予約
	佐藤幸一郎 午後のみ：紹介・予約		乳児検診 午後のみ	佐藤幸一郎 午後のみ：紹介・予約	
外科	坂元一郎 [消化器]	＜手術日＞	饗場正明 [消化器]	小川哲史	清水尚
	宮前洋平		佐藤泰輔	須藤雄仁	塚越浩志
ストーマ外来			第2・4週目 午後のみ：予約	第1・3・5週目 午後のみ：予約	
泌尿器科	井上雅晴	(高橋悟)	濱野達也	井上雅晴	(中山紘史)

1 外来診療受付時間

8:30～11:00迄（予約の場合は最終予約時間まで）

※再来受付機は8:15から受付しています

●紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、地域医療支援・連携センター窓口で受け付けております。

土曜日も予約受付を行っています

●当センターは土曜日（祝日を除く）も紹介患者の事前予約対応を行っております。従来通り、医療機関からのご紹介に限ります。

精神科 初診の方は完全予約制 となります

●精神科外来までご連絡いただき、来院日のご予約をお願いいたします。

地域医療支援・連携センターからのお願い

- 当センターへの紹介の際は、地域医療支援・連携センターを通した事前予約にご協力下さい。
- ご紹介を頂く際、患者さんの内服状況を確認させて頂いております。お手数をおかけしますが、内服薬をご確認の上ご紹介頂きますようお願い致します。
- 感染症の疑いのある患者さんを紹介する場合は事前連絡をお願いします。

（　）の医師は非常勤です。　（平成28年2月1日現在）

	月	火	水	木	金
緩和医療科	田中俊行	田中俊行	田中俊行		田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 [乳腺・甲状腺]	鯉淵幸生 [乳腺・甲状腺]	鯉淵幸生 [乳腺・甲状腺]	午前中予約のみ	鯉淵幸生 第2・4週目
	荻野美里	常田祐子	荻野美里	(高他大輔) 第1・3・5週目午後のみ	荻野美里 第1・3・5週目
		(小田原宏樹)			常田祐子
心臓血管外科	<手術日>			坂田一宏	小谷野哲也
呼吸器外科		渥實潤	<手術日>	菅野雅之	
				渥實潤 午後	
整形外科	新井厚	矢内紘一郎	新井厚	<手術日>	大澤敏久
	荒毅	<毎週交替>	大澤敏久		下山大輔
	下山大輔	(須藤・柳澤) 午前 午後	荒毅		矢内紘一郎
形成外科	<手術日> (午前) (林稔) 第4週午後	林奈津子	<手術日> (午前)	林奈津子	
脳神経外科	狩野忠滋	栗原秀行	<手術日>	笹口修男	大谷敏幸
皮膚科	龍崎圭一郎	龍崎圭一郎 [学童外来] 午後予約	<手術日>	龍崎圭一郎	龍崎圭一郎
	岡田悦子	岡田悦子		岡田悦子	岡田悦子
産婦人科	伊藤郁朗	伊藤郁朗	岩宗政幸	片貝栄樹	伊藤郁朗 第2週は紹介・予約のみ
	片貝栄樹	片貝栄樹	(多胡佳織) <産後検診>	小暮佳代子	青木宏
	小暮佳代子	青木宏		(金井眞理)	岩宗政幸
眼科	土屋明 紹介・予約のみ	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
耳鼻いんこう科				(高安幸弘) 午前のみ・紹介・予約	
放射線治療科	北本佳住 紹介・予約	北本佳住 紹介・予約		北本佳住 紹介・予約	北本佳住 紹介・予約
	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約		永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約
歯科口腔外科	高崎義人 紹介・予約	高崎義人 紹介・予約	高崎義人 紹介・予約	高崎義人 紹介・予約	高崎義人 紹介・予約
	山田健太郎 紹介・予約	山田健太郎 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	片山雅文 紹介・予約	三浦秀憲 紹介・予約 第1・3・5週目
	片山雅文 紹介・予約	片山雅文 紹介・予約	山田健太郎 紹介・予約	栗原絹枝 紹介・予約	山田健太郎 紹介・予約
	栗原絹枝 紹介・予約	栗原絹枝 紹介・予約	栗原絹枝 紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約	片山雅文 紹介・予約
	倉持真理子 紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約	本橋佳子 紹介・予約		栗原絹枝 紹介・予約
					倉持真理子 紹介・予約
摂食・嚥下、口腔ケア外来	稲川元明 紹介・予約		稲川元明 紹介・予約		
			飯田貴俊 紹介・予約		

2 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。

3 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

直通電話 027−322−5835（9時～17時 日･祝休み）

- 待ち時間を少なくするため予約診療をお勧めします。診療予約は、各科外来で医師にご相談ください。

Column

院長室だより

vol.7

戦争責任

戦争責任

病院長　石原　弘

昨年亡くなった元 ドイツのヴァイツゼッカー大統領が、「過去を本当に反省しなかったら、過ちはもう一度繰り返す」と言っていました。

もう一度繰り返さない国をつくるためには、自国の過去に厳しくしないといけないということです。それは日本にも妥当すると思います。

昨年安倍首相が戦後７０年談話を発表しました。全体的に主語のない、あいまいな間接表現でしたが、その中で私が一番注目したのは、「あの戦争に何ら関わりのない世代に謝罪を続ける宿命を背負わせてはならない。」という一文です。これはドイツのヴァイツゼッカー大統領と真向から対立する意見です。つまり過去は水に流して、未来へ進もうというものです。過去の歴史を正しく学ぶことは、未来を決定するということが理解出来ていないと思われます。

先の戦争中に子供だった人達、又私を含めた戦後生まれの人達に当然のことながら先の戦争の責任がないことは明白なことです。しかしあの戦争を起こした同じ国に住む私達にとって、戦争に至る経過と敗戦までの社会的、政治的、文化的状況がどのようなものであったかを学ぶ責任はあると思います。戦前･戦中と戦後に何が変わり、何が変わっていないかを、しっかり見極めるべきです。

あの戦争もそんなに悪い戦争ではなかったのではないかと、考えては、日本の未来はないと思われます。そういう意味で私達も戦争責任はあるのです。

INFORMATION

行事などのお知らせ

1 がん診療連携拠点病院研修会

『コミュニケーション技術研修会』

日時：平成28年3月5日㈯～6日㈰　2日間
場所：当センター　地域医療研修センター
対象：医師4名（定員になり次第締め切ります）

2 Cancer Board

『事例検討』

日時：平成28年3月4日㈮　18時～
場所：当センター2階　大会議室
対象：がん診療・治療に携わる職種の方

3 市民健康医学講座

『尋常性乾癬と悪性黒色腫の治療 ―新しい展望―(仮)』

日時：平成28年3月23日㈬　18時～
講師：皮膚科医長　龍崎 圭一郎
場所：当センター2階　大会議室
対象：一般の方　医療従事者

4 CPC（臨床病理示説会）

3月はお休みです。

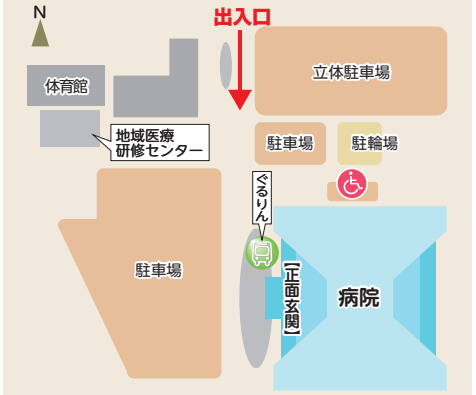
●お気軽にご参加ください。

編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 027-322-5835
（地域医療支援・連携センター直通）

独立行政法人･国立病院機構
高崎総合医療センター

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます
http://www.tnho.jp/kouhoubackno　検索

高崎総合医療センター案内図